

今日は何の日？

大宮国際中等教育学校の開校記念日

開校 1 年目は**開校記念式典**を挙行

開校 2 年目は臨時休校から**学校が再開**

開校 3 年目は**スクールバス**が運行開始

開校 4 年目の今日は…

生徒会朝礼がスタートします！

生徒の皆さんが企画・運営する朝礼です。

17歳の帝国のように、いずれは学校運営も…

3つのG

Grit（グリット）＝やり抜く力

「最後までやり抜く力」を身に付け、

Growth（グロウス）＝成長し続ける力

「生涯に渡って学び、成長し続ける」ことで、

Global（グローバル）＝世界に視野を広げる力

「国際的な視野を持って、より良い世界を

築くことに貢献する」人になっていこう！

大宮国際中等教育学校では、様々な学びの中で課題に向き合い、失敗を恐れず立ち向かい、未知や想定外に出会っても驚かず、自ら新しい価値を創って楽しむ場面を設定しています。また、学校の学びが社会に近づけるよう、外部の人や社会と多くつながり、将来、実社会で役立つ経験を積み重ねた教育活動を展開しています。

そして、それらの学びを通してGrit(やり抜く力)、Growth(成長し続ける力)、Global(世界に視野を広げる力)の3つのGを、6年間通してバランスよく身に付けることができます。また、「生涯にわたって自ら学び続ける力」や「自分の頭で考え抜き、新しい価値を生み出す力」など、国際的な視野に立って**多様性**を理解して探究し続ける「真の学力」を6年間の連続性の中で育んで行きます。

多様性＝Diversity

人間社会において、言語や生活習慣、考え方や価値観など、様々な相異なる性質の人が共にあること

ダイバーシティを尊重する学び

言語や生活習慣など、互いの違いを認め、協働していきます。

- ・ 考え方や感じ方、価値観が違うことは、とても大切なこと
- ・ 「違う」ことで排他的になるのは、協働の妨げ(さまたげ)
- ・ そしてそれは、争いのもと、いじめのもと、戦争のもと
- ・ それは、「よりよい世界を構築する」ことを難しくする

MOIS の皆さん、おはようございます。校長の関田です。

さて、今日は何の日でしょう？ そう、今日6月1日は、大宮国際中等教育学校の開校記念日です。

開校1年目は、開校記念式典を挙行し、清水勇人市長や細田眞由美教育長をはじめ、たくさんの方をお招きして、本校の開校を祝いました。

開校2年目は状況が一変し、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、全国に緊急事態宣言が出され、全ての学校が一斉臨時休校となりました。6月1日は、最後まで残った首都圏の緊急事態宣言が解除され、学校が再開した日でした。MOIS にとっては、まさしく2度目の開校記念日となりました。

開校3年目の去年は、念願のスクールバスが運行を開始しました。しかし思うように利用生徒が増えず、今年も待望の2台体制には移行できませんでした。来年度も運行を継続したいですし、雨のたびに生徒が路線バスに乗り切れない現状を考えると、利用者が増え、運行を増強できることを期待しています。

開校4年目となった今日は、生徒会朝礼がスタートしました。これまでMOISの朝礼は、ずっと先生方が企画し運営してきました。他校もそうでしょうね。でも今朝は、生徒会、すなわち生徒の皆さんが企画・運営する朝礼です。毎月ではありませんが、今後も9月と12月の朝礼は生徒会朝礼の予定です。

朝礼に限らず、肝心なことは、生徒会の活動を生徒全員が「自分たちの活動」だと自覚できるかどうかです。「政治は政治家がやるもの」だなんて感覚を持たずに、当事者意識を忘れずにいたいものです。MOISの学校運営も、いずれは生徒会長が決定権を持つ日が来るのかも知れません。某放送局のドラマのように。

MOISにとってそんな特別な日である開校記念日に際して、校訓である「3つのG」を確認してみましょう。3つのG、すなわち3Gとは、Grit「最後までやり抜く力」を身に付け、Growth「生涯に渡って学び、成長し続ける」ことで、Global「国際的な視野を持って、より良い世界を築くことに貢献する」人になっていこう！ということです。皆さんが「3G」と言う時、「3Gプロジェクト」を指すことが多いようですが、「3Gプロジェクト」は、皆さんが持つ3つのGを発揮して探究的な活動に取り組み、自らの3Gを更にどんどん伸ばしていこうとするプロジェクトのことです。

さて、MOISには校訓である3つのGの他に、もう一つ大切な理念があります。これは、開校当時から今まで、本校の入学希望者向けパンフレットの冒頭に掲載し続けている文章です。1期生以外は誰もが目にしていると思います。ここに示されている、もう一つの大切な理念とは何でしょうか？ それは「多様性」です。

多様性とは英語の「diversity」の日本語訳で、「様々な相異(あいこと)なるものがあること」ですが、ここではとりわけ「人間社会において言語や生活習慣、考え方や価値観など、様々な相異なる性質の人が共にあること」を指すと捉えています。

先ほど「1期生以外は誰もが目にしている」と言いましたが、実は1期生向けの4ページしか無かったパンフレットには、こう書いてありました。「ダイバーシティを尊重する学び 言語や生活習慣など、互いの違いを認め、協働していきます。」考え方や感じ方、価値観が違うことは、とても大切なことです。「違う」ことで排他的になるのは、協働の妨げ(さまたげ)です。そしてそれは、争いのもと、いじめのもと、戦争のもとになります。それは、「よりよい世界を構築する」ことを難しくします。

ダイバーシティを尊重する理念に基づいて開校されたMOISの皆さんには、肝に銘じてもらいたいと思います。以上です。